

第2号

市自公連だより



筑紫野市自治公民館連絡協議会

■発行元 筑紫野市自公連事務局

■☎818-0057 福岡県筑紫野市二日市南 1-9-3

■発行責任者 会長 中野 二郎

生涯学習センター内 ☎ 092-918-3535

進んで参ります。

公民館が今以上に住民の『よりどころ』となるように邁進して参ります。

活動していきたくと考えます。

一歩踏み出す事で、先に進めることを信じ、各地域の公民館が今以上に住民の『よりどころ』となるように邁進して参ります。

「一体化」により各地区に受け皿ができましたが、ここにどんな風を吹き込むかは、それぞれの館長(区長)主事又はコミュニティ運営協議会役員の動きによって異なります。

新たな風を吹かせましょう!

【役員のことば】



筑紫野市自治公民館
連絡協議会 副会長

平嶋 人美

山家六区公民館長

平成から「令和」へと新しい元号のもと筑紫野市小地区公民館「小公連」から「自公連」と名称が変わり、新たな第一歩を歩き始めました。

コミュニティ運営協議会との「一体化」により自公連の役員体制もスリムになり、館長七人、主事七人、参与八人と昨年度の役員定数から半減し、風通しの良い役員会及び理事会が開催されています。

第二部では、広島市古田公民館と宮崎県綾町自治公民館協議会から「持続可能な地域とは? 公民館活動の在り方とは!」を中心に、二団体の活動報告と興柁寛氏の進行でクイズ方式も交え楽しいパネル討論がありました。

今回の研修会に参加してとても有意義な一日となりました。今後の公民館活動に参考にさせて頂きたいと思

市自治公民館連絡協議会副会長
平等寺公民館館長 中川 幸治



第64回福岡県公民館大会に参加しました。

七月二六日 市自公連から十八名が参加しました。「持続可能な地域づくりに向けて公民館が進む道」をテーマに、会場の荏田町中央公民館には約千人の参加がありました。

第一部では、昭和女子大学特任教授の興柁寛(こうろきひろし)氏から「魅力ある地域づくりを担う公民館の役割を創造する」というテーマで、地域での何気ない活動から、現状・課題を多面的に分析した資料を基に説得力に満ちた講演がありました。講師が主宰する活動では、都内の大学生を公民館に派遣し、共に学び、つながり、行動するコミュニティ創造基地としての役割を実践しているとの報告がありました。



令和元年度第1回 市自治公民館連絡協議会 推進大会 (報告)

大会テーマ 『地域コミュニティに新たな風を！』

～自公連とコミ協の一体化を通して～



9月28日(土)生涯学習センターで、公民館・コミュニティ関係者等が一堂に会し推進大会を開催。2階ホワイエやラウンジで実施されたパネル展示では、公民館やコミュニティの具体的な活動の様子を参加者全員で見学し、共有することができました。

また、受付前に展示された本町の「さげもん」は大変華やかで素晴らしく、参加者を温かく出迎えていただきました。開会行事では、市自公連の中野会長から「今年度から衣替えした自治公民館連絡協議会は、コミュニティ運営協議会と本格的に一体となった

活動を推進し、地域コミュニティの形成発展に寄与する。」ことなど、推進大会の趣旨が述べられました。

基調講演では「地域共生社会の実現に向けて」をテーマに筑紫女学園大学教授の山崎安則氏から『公民館を拠点とする福祉コミュニティの形成』＝地域コミュニティの形成のため社会教育(公民館)、学校教育(学校)、福祉教育(社協)が連携・共同し、生涯学習社会の実現(人づくり・つながりづくり・地域づくり)が大切。と示唆に富んだ内容でした。研修会では、公民館とコミュニティの一体化に向けた『公民館を拠点とするひとづくり・まちづくり』を次の2地区から事例発表が行われました。

■紫ヶ丘公民館からは、超高齢化であるが行事参加は多く元気がある。助っ人クラブが作業の手伝いなど地域福祉活動を行っている。特別委員会を設け公民館活動等の問題解決に向けた取り組みを行っている。今後、コミュニティとの連携として隣接町内会との共催やサークルの交流などに取り組みたい。

■御笠まちづくり協議会公民館部会からは、公民館とコミ協一体化の一つとして文化祭を御笠地区で円滑に行っている。公民館活動が連携できる環境をつくるために公民館活動活性化事業を行っている。継続的な公民館活動を根付かせるために役員の役割分担やOB等の協力体制づくりに苦心しているなど、大変参考になる発表がなされました。



その後のインタビューダイアログ方式による討論では、発表者から地域福祉活動は公民館を拠点にした自主的活動を大切にして町内会が支援するスタンスが必要。町内会役員の選考に苦慮しているため、コミュニティで課題を共有し解決を図りたい。自治会バスの有償ボランティアや世代間交流など高齢者の地域活動を行っている。などの意見が出されました。参加者からも意見が出され活発な討論となりましたが、最後に山崎教授から高齢化も連携のあり方で可能性が広がる。自主財源の確保策を。OBなど活動サポーターが役員の安心につながるなど、多くの有意義な助言がありました。

今回は令和元年度第1回自公連の記念すべき推進大会でした。奇しくも令和の典拠とされた万葉集、梅花の歌32首の序文の文言は「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められていると言われています。今回の推進大会を契機に公民館を拠点とするひとづくり、まちづくりに向けて心を寄せ合う地域コミュニティが発展することを祈念して報告とします。

永岡公民館主事 松尾 和幸

【大会宣言を採択しました】

1. 公民館の相互交流、人材育成等を通じて公民館活動の活性化を図ります。
2. 家庭・学校・地域コミュニティ・行政・社会教育関係団体・企業・NPO等多様な主体との連携・協働を推進します。
3. 情報の発信と共有化を推進します。
4. 公民館を拠点とする活動の柱に[地域防災・地域福祉]の視点を据えて地域コミュニティの形成・発展に寄与します。



各地区公民館・各コミュニティ運営協議会の活動を紹介展示しました。





令和元年度 夏祭り



大門公民館



六反公民館



二日市地区

山口地区平等寺公民館



二日市東地区・天神公民館



みかさ台公民館



御笠地区

原 公民館



山家地区公民館



筑紫南地区・美しが丘北公民館



【筑紫地区】

岡田公民館



美咲公民館





コミュニティ運営協議会の活動(シリーズ2)

『原点回帰』 『愛・笑顔・活力のあるまち二日市』

令和元年度を迎え、二日市コミュニティ運営協議会(通称:ニコ協)も創立6年目を迎えます。これまでに様々なまちづくり活動を行ってまいりましたが、今一度原点に立ち返ってニコ協のあるべき姿、果たすべき役割について考えてみました。平成30年に各地で起こった異常気象による豪雨災害などを踏まえた時、二日市地域住民の生命と財産を守るための防災の備えを充実させることが、みんなが安全に安心して暮らせるまちづくりに繋がると思います。ニコ協事業の柱として「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」を目標に、災害と福祉に強いまちづくりを目指します。

重点目標

1. ニコ協防災計画に向けて防災防犯事業の推進
危険箇所調査・避難所運営・防災安心カード配布
2. ニコニコサポートの活用
3. 子ども育成部会・健康福祉部会の充実



元気活動応援事業 魚つかみ取り体験



筑紫野市・太宰府市合同総合防災訓練



二日市コミュニティ運営協議会
会長 萩尾 土郎



公民館紹介 山家九区公民館

山家九区は、旧長崎街道の入口に位置し、国道200号線が通りTV番組「前川清の笑顔まんてん タビ好き」でJR山家駅、宿場史跡などが紹介されました。現在、山家九区は、138世帯、人口307人(2019.9現在)で、少子高齢化が急速に進んでいる状況にあります。このような中、令和

元年からコミュニティ運営協議会と一体化となり、連携を図りながら自治公民館活動を進めています。

コミ協と連携した活動として、4月「スポーツフェスタ」、8月「夏祭り」、9月「敬老会」、10月「市民体育祭」、11月「市民文化祭」「山家宿祭り」「秋季スポーツフェスタ」、2月「いきいきウォーク」に参加しています。

九区公民館活動としては、「太極拳」「いきいきサロン」「山家福寿会」等の活動で懇親を深めています。また、地域の大きな課題である高齢化対策については、1班から8班の「見守り隊」を結成し、日常の見守り、災害時の安全確認、緊急時の対応等、区長から隣組長・各家庭という指示系統を確立し安心・安全の山家九区になるように日頃から努力しています。



山家九区公民館 館長 今村 信治 主事 古賀 英樹